

公演事業報告

2013年8月23日(金)

講演事業 第四回公演交流事業

10:00～12:00

被災地の現在 民俗芸能の復興課題

さいたま芸術劇場映像ホール

第五回公演交流事業

13:00～15:00

八百万の神々～神楽面の世界

さいたま芸術劇場映像ホール

公演事業 第七回楽しくてわかりやすい江戸里神楽公演

昼公演 14:00～16:30

夜公演 17:30～20:00

出演団体 国指定無形民俗文化財・埼玉県指定無形民俗文化財
大宮住吉神楽保存会(坂戸市塚越)

活動目的

- シニア世代と大学生という異世代交流型のボランティアモデルの提唱と実践。シニアの経験と技術、大学生のプレゼン力と行動力とを積極的に組み合わせ、高いレベルでの事業実現を目指す。
- 埼玉県内各地に伝わる伝統芸能・里神楽(さとかぐら)について、公演形式による紹介を通して、埼玉県民に伝統文化の重要性を伝える。
- 伝統芸能を地域で担っている方々との直接交流を深め、伝承環境を向上させていく。
- ボランティアスタッフ自身が活動資金を自ら負担、用意し、併せて助成、協賛会社からの支援を仰いで経営する自助と共助型の活動モデルの提唱と実践。
- 紙媒体(印刷物)とウェブ活用による事業成果の公開。

関連資料



公演スタッフ記念写真(2013年8月23日 08:00ごろ)

関連資料



劇場前で全体ミーティング風景(08:00ごろ)

関連資料



被災地の民俗芸能の現在を討議(発言する大学生)

関連資料



被災地の伝統芸能を記録する手塚監督による発言

関連資料



大宮住吉神楽(坂戸市塚越)の熱演

関連資料



熱演の大宮住吉神楽

関連資料



シニアスタッフも大奮戦